

2024年3月

株式会社ダイレクトマーケティングミックス

取締役会の実効性評価について

当社は、取締役会の実効性評価向上を図るため、毎年1回、取締役全員に対してアンケートを実施し、取締役による自己評価を行うとともに、各取締役に対する個別インタビューにより改善点や課題を抽出し、取締役会で分析・評価を行っています。2023年度に実施した取締役会の実効性評価のプロセス及び結果の概要は下記のとおりです。

記

1. 評価プロセス

(1) アンケート

- ① 対象者 取締役10名全員（社内取締役4名、社外取締役6名）
- ② 回答方式 5段階の選択方式
- ③ 主な評価項目
 - ア 取締役会の構成について
 - イ 取締役会の運営について
 - ウ 社外取締役について
 - エ 取締役会を支える体制について
 - オ 子会社の管理について
 - カ リスクマネジメントについて
 - キ 取締役のトレーニングについて
 - ク 指名委員会、監査委員会及び報酬委員会について
 - ケ サステナビリティの取組みについて
 - コ ステークホルダーとの対話について

(2) インタビュー

- ① 対象者 取締役全員
- ② インタビュアー 取締役会事務局
- ③ インタビュー内容 アンケートの結果を踏まえた個別インタビュー

(3) 取締役会での分析・評価

取締役会はその役割、責務を果たしているなど、おおむね適切に機能しており、取

取締役会の実効性が確保されているが、子会社の適切な管理について改善すべき点が多数指摘された。

2. 評価結果

前回の評価結果を踏まえた取り組み

(1) 長期的な課題と中期経営計画の進捗に関する議論の充実

経営戦略の方向性の決定にあたって活発な議論が行われました。

(2) 取締役会への提供資料の充実について

取締役会資料の共有における WEB システムを活用し、職務の執行状況の報告における定性情報の拡充に努めたことにより、議論の質が向上し、審議事項への理解が深まりました。また、重要な決議事項に関しては事前説明が行われました。

(3) 取締役へのトレーニングの更なる充実

取締役の役割・責務を踏まえた知識会得や情報収集等に努めました。

3. 抽出された課題

(1) 経営戦略に関する取締役会での議論が業績の向上につながっていない

(2) 持株会社の主な業務は子会社の管理であるが、グループ管理体制が機能していない

(3) 指名委員会等設置会社の真価を発揮できていない

4. 今後の課題への対応

2023 年度の実効性評価において抽出された課題を踏まえ、2024 年度においては、主に以下の改善事項について継続的に取り組むことにより実効性をさらに高めてまいります。

(1) 中長期的な企業価値の創出と持続的な成長を踏まえた経営戦略に関する実効性の高い議論

(2) 子会社管理体制の強化

(3) モニタリングモデルを理念とする指名委員会等設置会社の実効性向上

当社はこれらの取組みを通じて、取締役会の実効性評価向上を図るとともに、コーポレートガバナンスの一層の強化に努めてまいります。

以上